○高等植物分布資料 (122) Materials for the distribution of vascular plants in Japan (122)

○オオバミゾホオズキ *Mimulus sessilifolius* Maxim. 本州での分布が日本海側に偏っているという植物地理学上の興味もあって，オオバミゾホオズキ *Mimulus sessilifolius* Maxim. の分布については以前からよく研究されており，分布図も提出されている（山崎，自然科学と博物館 **26**: 1-19, 1959; 福岡，北陸の植物 **15**: 63-79, 1966)。これらの研究によって，本種は白山を西限とする分布域をもつことが明らかにされてきた。

1986年6月，愛知県西春日井郡の小崎義夫氏が，福井県境に近い岐阜県揖斐郡徳山村塚の冠山山腹（図の矢印の地点，標高約 800 m）でオオバミゾホオズキを採取され，腊葉標本を寄贈して下さった。同氏によれば，オオバミゾホオズキは落葉広葉樹林下を流れる揖斐川支流の小さな沢沿いの泥地などに大小の群落を作って生育しているという。採取地は白山よりもさらに南西に位置しており，新たな分布の西限にあたると考えられるので記録しておく。なお，証拠標本は国立科学博物館標本庫 (TNS) に収蔵してある。

（国立科学博物館 筑波実験植物園　加藤辰己　Tatsumi KATO)

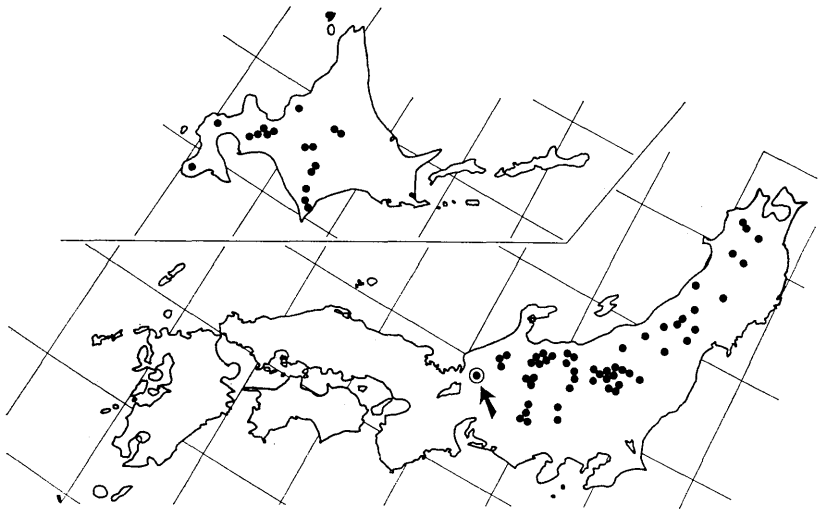

Fig. 1. Distribution of *Mimulus sessilifolius* in Japan. Dots represent localities from which herbarium specimens preserved in TNS, TI and MAK were derived. Dot with surrounding circle indicates the newly discovered locality.